

【政治】

13 日：市政府、空気汚染対策に関するテーマ会議を開催

13 日、市政府はテーマ会議を開催し、空気汚染対策である「青い空プロジェクト（藍天工程）」の具体的施策・内容について研究を行った。肖盛峰市長は会議の中で、化石燃料から新燃料への転換、電気を用いた自動車や公共交通機関の普及等を主な内容とする 10 項目の空気汚染対策措置に全市を挙げて取り組んでいかなければならないと述べた。（14 日付半島晨报 A04 面）

13 日：肖盛峰市長、市内各地の「第 13 次 5 力年計画」立案状況を聞き取り

13 日、肖盛峰市長はテーマ会議を開催し、市内各区・市・県・先導区における「第 13 次 5 力年計画」の立案状況に対する聞き取りを行い、今後の施策に対する指導を行った。（14 日付半島晨报 A04 面）

14 日・15 日：市党委中心组、「5 中全会」に関する学習会を開催

14 日及び 15 日、市党委中心组はテーマ学習会を開催し、「5 中全会」（中国共産党第 18 期中央委員会第 5 回全体会議）の精神に対する学習・研究討論を行った。唐軍書記、肖盛峰市長ら市幹部が会議に参加した。（16 日付大連日報 1 面）

2,600 万元以上をかけた「大連市空気質量予報システム」の試運転開始

先日、総投資額が 2,600 万元以上に及ぶ「大連市空気質量予報システム」の試運転が行われた。当該システムが正式運転されれば、向こう 3 日間の些細な空気汚染予報を打ち出し、また重大な空気汚染に対する警告を発出することが可能となる。もし本システムにより明日の大気状態が「重大な空気汚染」と予報された場合、大連市は本年 9 月に公布された規則に基づき、車両規制等の強制措置を実行する。当該規制は来年 1 月 1 日より行われる。（17 日付半島晨报 A03 面）

18 日：市党委中心组、テーマ学習会を開催

18 日、市党委中心组は「三厳三実」をテーマとする教育の第 3 テーマ学習会議を開催し、厳格な職権乱用の禁止等のテーマについて学習・研究を行った。唐軍書記、肖盛峰市長ら市幹部が会議に参加した。（19 日付半島晨报 A10 面）

19 日：市人代常務委員会第 21 回会議開催、洪登金新副市長誕生

19 日、市人代第 21 回会議が開催され、洪登金（国家開発銀行教育トレーニング局元副局長）が大連市人民政府新副市長に任命された（同副市長は今後金融・銀行等の業務を管轄していく見込み）。（20 日付大連日報 1 面）

【経済】

5日～12日：「中国国際ソフトウェア・情報サービス交易会」、海外にて分会を開催

毎年6月大連にて開催される「中国国際ソフトウェア・情報サービス交易会」の海外分会が5日～12日までの期間にてロシア、トルクメニスタン、エストニアにてそれぞれ開催された。遼寧省党委の李希書記、大連市の盧林副市長らがロシア分会に出席した。
(20日付大連日報1面)

14日：唐軍書記・肖盛峰市長、上海実業グループの滕一龍董事長と会見

14日、唐軍書記、肖盛峰市長は上海実業グループの滕一龍董事長一行と会見を行い、双方は今後更に協力関係を深めていくことで意見が一致した。会見上、唐軍書記は同グループと大連市は汚水処理等の分野においてすでに協力を成功させており、同グループが大連のインフラ整備に対し積極的な貢献をしてきたことを評価した。滕一龍董事長はこれに対し、今後大連のインフラ建設に積極的に参画し、大連に対する投資規模をさらに拡大していきたいと述べた。
(15日付大連日報1面)

16日：肖盛峰市長、ノルウェーのオドフェルグループ一行と会見

16日、肖盛峰市長はノルウェーのオドフェルグループ一行と会見を行った（当事務所注：同グループはノルウェーに本社を持ち、石油科学品類の海上輸送や貯蔵を行うグローバル企業）。同グループは1996年に同グループ初となる海外での合弁企業を大連において設立し、その後も大連への投資を続けてきた。肖盛峰市長は会見上、同グループと大連港グループの20年に亘る協力関係を高く評価し、今後とも大連における投資を拡大することを希望する旨述べた。
(17日付半島晨报 A06面)

16日：肖盛峰市長、中国聯通遼寧省支店の買彦州総経理と会見

16日、肖盛峰市長は中国聯通遼寧省支店の買彦州総経理一行と会見し、スマート都市建設等の問題について意見交換を行った。買彦州総経理は会見上、同社は来年の第1四半期末までに大連聯通のブロードバンドの光ファイバー化を完成させる見込みであると述べた。
(17日付半島晨报 A06面)

18日：肖盛峰市長、オーストリア RHI グループ一行と会見

18日、肖盛峰市長はオーストリア RHI グループ一行と会見を行い、双方は今後更に協力関係を深めていくことで意見を一致させた。会見上、一行代表は同グループが今後大連で奨学金基金を設立し、優秀な学生を支援していく予定であることを発表した。同グループは世界的な耐熱材料生産メーカーであり、2003年から大連に対する投資を行ってきた。(19日付半島晨报 A10面)

大連東風日産工場職員、日産世界基本技能大会で準優勝

先日行われた第5回日産世界基本技能大会ペンチ技能の部で、大連東風日産工場職員が準優勝を果たし、また同大会ペンチ技能の部における最高記録を塗り替えた。
(17日付大連日報1面)

19日：日創信息技术(大連)株式会社研究開発センターの操業式典開催

19日、日創信息技术(大連)株式会社研究開発センターの操業式典が行われ、「金普新区 IT 訓練基地」、「金普新区国際電商総合実験区 IT 公共サービスプラットフォーム」が同研究開発センターに成立した。同社は日立グループと大連創盛科技有限公司、大連双 D ハイテク産業有限公司 3 社の共同出資により 2011 年に設立され、クラウド計算データセンターの建設運営、IT 人材育成等の業務を行ってきた。(20 日付大連日報 2 面)

【社会・文化】

2015 年の大連空港国際線の貨物輸送量増加率、国内線を大きく上回る

大連空港によると、今年度の大連空港国内線の貨物輸送量は昨年より 1.5 倍以上に増加していることが分かった。また、国際線の貨物輸送量の増加率は国内線を更に上回り、昨年より 2 倍以上に増加していることが分かった。(16 日付大連晩報 A05 面)

15日：大連国際愛楽交響楽団第 21 回音楽会が開催

15日、大連国際愛楽交響楽団第 21 回交響音楽会が第 44 中学音楽ホールにて開催され、約 1,000 名の観客が鑑賞した。同交響楽団は 1995 年に成立した大連国際音楽愛好者クラブを前身としており、今年 7 月に現在の名称に改名した。同交響楽団は音楽を愛する中国人、日本人、韓国人、米国人等のプロ・アマチュアメンバーで構成され、日本人指揮者である鷺見尚保氏が常任指揮者を務めている。(16 日付大連晩報 B2 面)

「大連漢風文化箱舟」、新たな文化宣伝のキャリアーとして邁進

和平広場に位置する「大連漢風文化箱舟」は開業以来多くの活動を展開し、数千人の観客に対し伝統文化を届けてきた。2015 年の大連市の重要プロジェクトの一環として、市党委宣伝部は今後とも「大連漢風文化箱舟」を新たな文化宣伝のキャリアーとし、各種の公益性ある活動を展開していく予定。(18 日付大連晩報 A2 面)

19日：大型クルーズ船「中華泰山号」、再度大連港に寄航

19日、「中華泰山号」が大連港に寄航し、乗客 700 名を乗せ韓国の済州島、日本の佐世保へと出航した。同クルーズ船は 19 日から 29 日までの期間に韓国・日本航路を 2 往復する予定。(20 日付新商報 A07 面)

【日本関連報道】

4日：大連市第 16 中学の学生、日本に赴き高校生による国際フォーラムに参加

4日、和歌山県庁にて「アジア・オセアニア高校生フォーラム発表会」が正式に開幕した。アジア・オセアニア地域からやって来た高校生 20 名及び日本各地から集まった高校生代表が、防災、環境、文化交流等の議題について白熱した討論を交わした。大連市第 16 中学 2 年生 2 班の寧靖さんが招待を受け当該フォーラムに参加した。(16 日付大連日報 8 面)

(注) 11月14日～11月20日の大連日報、半島晨报、大連晩報、新商報の記事をもとに作成。